

まちの 永平寺町議会 だより

第74号

INDEX

令和6年5月2日発行

特集 予算審議 P2~9

そこが聞きたい!

議員12人が一般質問 P14~18



議会だよりは
こちらから
ご覧いただけます▶



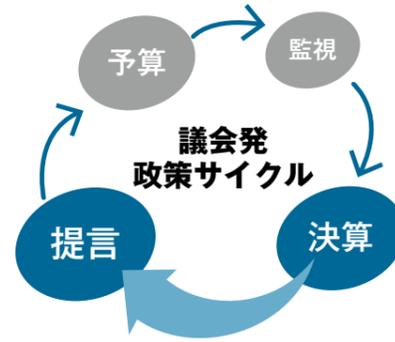
永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索



いざ検証! あの提言どうなった



議会からの提言は
予算にどう反映されたのか



みでの73号
決算提言

総務産業建設常任委員会

拡充された 提言事業

教育民生常任委員会

提言
1

制度の周知や返礼品の選定、開発等商工会や民間業者と連携する。

ふるさと納税事業 1億2,757万円

返礼品カタログ付パンフレット2000枚作成費 24万円
運営業務委託費 3,687万円



提言
2

民間のノウハウを取り入れた空き家活用の促進

防災対策事業 3,019万円

空き家解体費及び撤去事業費 410千円
住宅支援事業 407万円
空き家等実態調査業務委託費 132万円

6年度も引き続き、所有者自らが行う老朽空き家等の解体撤去に係る費用の一部を補助し、生活や防災環境の保全を推進すると共に福井県司法書士会等にも相談し危険な空き家による被害の防止に努め、災害に強いまちづくりに向け更なる取り組みを推進していきます。

防災安全課



提言
3

健康診断の受診率の向上。
人間ドックの助成増と受付開始を早める。

人間ドック事業 615万円

人間ドックの助成金を増額する。人間ドック受付は4月1日開始
助成…1日ドック2万円を3万円に
2日ドック・併用ドック4万円を5万円に

永平寺町国民健康保険では、健康寿命の延伸等を目的としたデータヘルス計画を策定し、保健事業に取り組んでおります。生活習慣病等の重症化を防ぐために、より多くの方に人間ドックを受診していただきたく、人間ドックの助成額等を見直しました。



住民税務課

提言
4

公民館が生涯学習の場となり世代間交流等を促進する

公民館運営事業 386万円

文化芸術振興事業 407万円

世代間交流事業への支援。
町内外の垣根を超えたコミュニティの創設。
地域課題に対応する事業の実施。



新年度予算への

期待 の 事業

令和6年度
当初予算への

「12の視点」

住民に寄り添い未来へ



酒井 圭治 議員

子育て・教育・福祉事業

自然を大切に、子育て・教育・福祉事業の面からも、誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざし、良き地域づくりを支援してほしい。

持続可能なまちづくり



清水 紀人 議員

未来への投資事業

労働人口減少の中、行政サービス維持のため、働き方の柔軟化とデジタル化は必須。健康対策、地域資源の活用や担い手対策で活力を。

交流人口増加の促進



西川 雅博 議員

インバウンドとテロワール

100年に1度の好機。訪日外国人がストレスなく楽しめる町に。永平寺テロワールで地域が元気になることを期待。

未来への貴重な財源



亀井 圭介 議員

ふるさと納税事業

町の未来を切り開くためには将来性のある分野への投資が必須。自由のきく財源となる、ふるさと納税をつまく活用してほしい。

効果的な財政支出を



金原 直栄 議員

異次元の子育て支援

町の貯金50億円、効果的な財政支出で、子育て安心の町づくりの再構築。町独自の少人数学級の実施を。

住民の健康管理を



齋藤 則男 議員

人間ドック事業

個別検診の受診率の向上、保健師や保険推進委員の活用を図り、病気の早期発見、治療による医療費の高騰を抑える。

活力ある強い農業



川崎 直文 議員

いちほまれPR事業補助金・作付補助金

ブランド力の高い「いちほまれの里」を確立する「永平寺町産いちほまれPR事業補助金」、「いちほまれ作付補助金」を推進！

限られた予算だから



森山 充 議員

ふるさと納税事業

目的を明確にし、効率的な予算執行を望みます。目標額以上に経費をかけては本末転倒ですから、目標は大きく。

健康寿命の延伸に期待



上田 誠 議員

健康づくり推進事業

健康は町民が願う生活要素の一つであり、「幸福」の基となるキーワードです。今後の助け合い、共生社会実現に向けた地域の要となる。

新幹線延伸で誘客拡大



長岡 千恵子 議員

観光情報発信事業

北陸新幹線敦賀延伸は100年に一度の大きなチャンス。このチャンスを生かすことで永平寺町への誘客を図り、知名度と認知度の向上を。

消防団体制の整備事業



清水 憲一 議員

地域防災力の充実強化

消防団員の資質向上、人員確保は必要不可欠。地域振興のリーダー役でもあり退団後引き続き機能別団員として地域を支えていただきたい。

若い力に期待



松川 正樹 議員

はたちのつどい事業

はたちのつどいは若い担い手育成の第一歩。まずは、実行委員の動機付けから始めないと。町の将来に若い力を発揮してほしい。

「町政の主役は町民」「永平寺町議会は「住民自治の力」を十分に発揮でききるように、これから12の窓口として役割を果たしていく予定です！」

「はたちのつどい」は 社会教育そのもの



松川正樹 議員

問 2年前から始まった「はたちのつどい」いづれか今までの成人式と違うのかと尋ねたが、月日が変わっただけらしい。やはり、より前進すべきで創意と工夫が求められる。成人者自身に考えてもらうしかない。そここそが社会教育。

答 今年度の実行委員は11人でした。8月から月に1回集まり、「禅進～夢へRe:start～」をテーマに取り組みました。

私も質問
しました



森山 充 議員 長岡千恵子 議員



はたちのつどい

まちづくり

快適でうるおいのある まちづくり

松山西幼児園跡地は、都市公園として
供用するための整備工事を行う。



清水紀人 議員

問 公園内で耐震性貯水槽の設置はあるか。

答 既存の貯水槽があり、現状傷みもなくしっかりしているので、そのまま利用する。耐震性貯水槽の設置は行わない。

私も質問
しました



長岡千恵子 議員 金元直栄 議員



都市公園のイメージ

農業振興事務諸経費 いちほまれPR補助金



金元直栄 議員

問 なぜ生産者がいちほまれのPR費を負担するのか。責任は県や県JAだ。1割しか自家用米を残せないなど、厳しい生産条件を生産者に押し付けるのでは、生産意欲もわかないし「うまい米」なのかも広がらない。

答 永平寺町をいちほまれの里にしたいとのJA等の意向だが、生産者の協議会でも同様の指摘を受け付けている。町はそのPR費負担への支援を行う。



私も質問
しました



滝波登喜男 議員

産業

ふるさと納税、 目標額と収支見込み



滝波登喜男 議員

問 ふるさと納税の個人版・企業版の目標額と収支見込みは。

答 個人版の目標額は1億円で、その内訳は返礼品ありが6400万円。なしが3600万円。企業版は目標額を定めていない。収支は寄付額の約60%が利益となる見込み。

私も質問
しました



森山 充 議員 川崎直文 議員 齋藤則男 議員 上田 誠 議員 楠 圭介 議員 酒井圭治 議員



ニンキー体育館

過疎対策事業債等



齋藤則男 議員

問 当事業は過疎債が発行できないとき、町の借金である起債の元利償還額が地方交付税に算入されるため、起債の発行を安易にされてはいないのか。

答 過疎対策事業債は、上志比地区の振興事業に充当している。発行できないときは町費を充てる。起債は交付税に算入されるからといって、安易に発行することなく、将来のことを考え発行している。

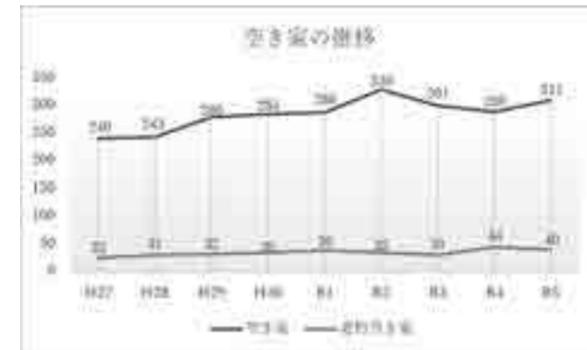
放っておけない 老朽空き家



楠 圭介 議員

問 全国的に空き家が問題となっているが、所有者が自ら申し出てくるのをただ待つだけでなく、地域や集落から要望がある老朽空き家に対しては、行政が所有者に直接解体等を要求する動きがあってもいいのでは。

答 空き家はあくまで個人資産であるため、行政が所有者に直接解体等を促すことは出来ない。



私も質問
しました



滝波登喜男 議員 清水紀人 議員 金元直栄 議員

安全・防災

共に考ええる 予算

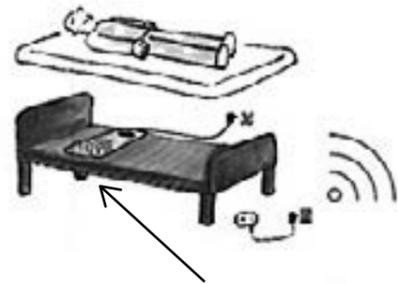
満足度の高い 事業へ！

ICT活用の睡眠・生活リズム モニタリング事業は

問 ICTを活用した睡眠・生活リズムモニタリング事業は継続か。事業規模は。
答 自宅で睡眠状況をセンサーでモニタリングする。専用のアプリで伝送されたデータをもとに電話等でアドバイスして生活リズムの改善を図る。令和6年度は36名を対象とする。3年間継続する。



川崎直文 議員



- 薄型シートセンサー
- 敷いていることを意識せずにデータを取得
- だれでも簡単に設置でき、すぐに利用可能

私も質問
しました



上田 誠 議員 滝波登喜男 議員

健康

学校の部活動 地域移行への支援

問 当初予算に指導者予算は設定されているが、指導者を必要とする団体と指導希望者のマッチング支援サービスが見えない、今後に向けてマッチングアプリの活用を進めてはどうか。
答 人材確保に向けて様々な方法を検討したい。



酒井圭治 議員

私も質問
しました



上田 誠 議員 滝波登喜男 議員 長岡千恵子 議員 清水紀人 議員

教育

議会の視点



審議の先に見えるもの



中村勘太郎 議長

議論を尽くし賛否が分かれての可決と、表面的な質疑だけでの全会一致の可決。同じ可決でも、中味の濃さと事業執行の緊張感、そしてどちらが町にとってプラスかは明らかです。議論が白熱すると感情的になりますが、それも町の将来や町民生活を第一に考えた熱意のあらわれです。議論を尽くした予算が、期待通りの成果を上げ、町民に喜ばれるものとなるよう、予算を可決した議会の責任として今後、しっかりみていきたいと思ひます。

えい坊館運営管理事業

えい坊館を町の魅力と交流拠点に



上田 誠 議員

問 飲食スペース再開は公募とし、運営補助金制度の活用と指定管理導入とあるが見通しは。
答 令和7年指定管理導入に向け今年度は実証準備とし、民間利用の公募を行う。維持管理は会計年度任用職員2名雇い、町の魅力情報発信と町内外相互交流拠点をを目指す。

私も質問
しました



松川正樹 議員 川崎直文 議員 滝波登喜男 議員 長岡千恵子 議員 金元直栄 議員



えい坊館 飲食スペース

新幹線延伸から中部縦貫自動車道全線 開通に向けて継続的な観光客誘致を

問 観光素材集発行、配布の目的は。
答 観光素材集の発行は町民向けに町内観光施設のより深い周知を図り、町民一人一人が情報発信人となること、北陸新幹線敦賀延伸に伴い首都圏への観光誘致を促進する目的で発行する。旅行会社へ配布を行い、誘客の増加を図る。



長岡千恵子 議員

私も質問
しました



滝波登喜男 議員 上田 誠 議員



北陸新幹線

商工・観光

電気自動車の 充電施設はどうなるの？



森山 充 議員

問 町内の設置状況と利用実績は？今後の整備計画はあるか。
答 町内には「道の駅禅の里」に1台設置してある。令和5年度で368回の利用実績がある。今後の設置予定はない。
問 1台あたりの設置費用は。
答 500万円程度。

私も質問
しました



上田 誠 議員

インフラ



電気自動車充電器

議案第8号 令和5年度土地開発事業特別会計補正予算について 195万6,000円繰越 宅地造成費	可決	議案第24号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意について 前任者の退任に伴い新任 朝井正恵さん(中島)	同意
議案第9号 令和6年度一般会計予算について 96億8,398万9,000円 民生費30億1,171万8,000円、総務費16億5,887万4,000円等	可決	議案第25号 教育委員会委員の任命同意について 任期満了により再任 根来航平さん(松岡神明)	同意
議案第10号 令和6年度国民健康保険事業特別会計予算について 15億4,586万8,000円 一般被保険者療養給付費9億3,477万8,000円等	可決	議案第26号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について 近助タクシー車両購入及び、東部5号取水井事業、辺地対策事業予定額4,390万円	可決
議案第11号 令和6年度後期高齢者医療特別会計予算について 3億771万3,000円 後期高齢者医療広域連合納付金3億372万円等	可決	議案第27号 教育委員会教育長の任命同意について 前任者の退任に伴い新任 竹内康高さん(松岡春日)	同意
議案第12号 令和6年度町立在宅訪問診療所特別会計予算について 1億4,714万9,000円 医業費1億2,901万1,000円、一般管理費1,685万円	可決	議案第28号 令和5年度一般会計補正予算について 369万6,000円増額 屋外拡声子局設備修繕費369万6,000円	可決
議案第13号 令和6年度土地開発事業特別会計予算について 1,304万6,000円 宅地造成費	可決	議案第29号 令和6年度介護保険特別会計予算について 21億416万2,000円 施設介護サービス給付費7億9,200万円等	可決
議案第14号 令和6年度上水道事業会計予算について 6億6,161万1,000円 取水設備改良工事6,600万8,000円等	可決	議案第30号 介護保険条例の一部を改正する条例の制定について 第3条第1項の第1~10号を改め、第11号~13号の3号の追加等	可決
議案第15号 令和6年度下水道事業会計予算について 12億7,272万1,000円 ポンプ場建設改良費1億6,883万7,000円等	可決	議案第31号 指定居宅介護支援等の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例の制定について 居宅介護支援基準の改正等	可決
議案第16号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について 在宅勤務等手当の新設、会計年度任用職員への勤勉手当の創設	可決	議案第32号 下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 第1条に「及び集中処理浄化槽事業をいう」の追記等	可決
議案第17号 手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について 「広域交付」の追加、「識別符号」の新設、「届書等情報の内容の証明書」の追加	可決	諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について 任期満了により再任 白崎喜久子さん(松岡春日)	適任
議案第18号 公の施設の指定管理者の指定手続き等に関する条例の一部改正について 第5条の「本町が出資している法人又は公共団体若しくは公共的団体を」を削除等	継続審議	諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について 任期満了により再任 中村祥子さん(松岡吉野)	適任
議案第19号 企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について 第2条第1項第2号中「日本標準産業分類(令和5年総務省告示第256号)」に改める	可決	発委第1号 議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について 議会議員の請負の状況の公表に関し、報告等必要な事項を定める	可決
議案第20号 消防本部手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について 大規模な危険物屋外タンク貯蔵所の設置に係る審査手数料の改正	可決	発委第2号 議会会議規則の一部を改正する条例の制定について 手続きのオンライン化に対応し一部改正等	可決
議案第21号 火災予防条例の一部を改正する条例の制定について 第39条、第40条、第42条の「主要構造部」を「特定主要構造部」に改める	可決	発委第3号 議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について 手続きのオンライン化に対応し一部改正等	可決
議案第22号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意について 任期満了により再任 布目一夫さん(松岡吉野塚)	同意	請願第1号 能登半島地震をふまえ、福井県内原発の総点検と原子力防災計画の見直しを求め、使用済み核燃料貯蔵に反対する請願 請願事項 能登半島地震の新たな知見にもとづき原発の総点検を行う、「乾式貯蔵」の事前了解願いを認めない等	不採択
議案第23号 固定資産評価審査委員会委員の選任同意について 任期満了により再任 渡辺敬一さん(東古市)	同意		

議案への賛否一覧 議席順に掲載 (賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席) ※議長(中村勘太郎)は採決に加わりません

	酒井	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
議案第9号	賛	賛	賛	一	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第10号	賛	賛	賛	一	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第11号	賛	賛	賛	一	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第25号	賛	賛	賛	一	賛	退	賛	賛	賛	賛	退	賛	賛
議案第27号	賛	賛	賛	一	賛	退	賛	賛	賛	賛	退	賛	賛
議案第29号	賛	賛	賛	一	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第31号	賛	賛	賛	一	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
請願第1号	反	賛	反	一	反	賛	反	反	賛	反	賛	賛	反

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等29件については全員賛成です。

令和6年度 第1回臨時会報告

令和6年第1回臨時会は、1月26日(金)に開催されました。審議された内容は次のとおりです。

第1回臨時会議案

承認第1号 令和5年度一般会計補正予算の専決処分の承認について 502万5,000円増額 地震の救援物資のため、不足する災害用備品の購入費93万9,000円等	可決	議案第1号 令和5年度一般会計補正予算承認について 1億1,608万2,000円増額 低所得者支援給付金事業5,222万8,000円等	可決
承認第2号 令和5年度上水道事業会計補正予算の専決処分の承認について 3条支出31万9,000円増額 能登半島地震での給水支援の経費31万9,000円	可決		

議案への賛否一覧 議席順に掲載 (賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席) ※議長(中村勘太郎)は採決に加わりません

	酒井	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
議案第1号	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	一	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等2件については全員賛成です。

議案への賛成反対討論

議案第1号 令和5年度一般会計補正予算承認について

反対討論

金元 直栄

物価高騰対策で事業者への支援は必要だが、この口実でプレミアム商品券をデジタル通貨のみでの実施では、確実に取り残される人たちが生まれる。他の自治体では普通の商品券の発行もあることから、利用できない人の生まれる本町のやり方は認められない。実施するのなら皆が利用できるようにすべきだ。

反対討論

上田 誠

今回の町内事業者支援の施策自体や、デジタル・DX化推進に反対するものでないが、今回はスマホ使用のみが対象であり、持っていない人、慣れない人、理解できない高齢者等が恩恵に預かれなくなる点、他市町では今までのやり方と併用して全ての町民に同等に対応している点など、きめ細かく対応することが必要と考え反対する。

賛成討論

森山 充

本事業を速やかに実施することが町民を利することになるので、賛成する。



賛成討論

清水 憲一

世の中の流れが全てデジタル化へと移行しつつある。この流れに遅れると、国や自治体からの様々なサービス提供が受けられなかったり、遅れたりすることが起こる。県の整備事業に乗っかって町の情報インフラ整備を至急やるべき。その恩恵により、町民はサービスを受け易くなる。

令和6年度 第2回定例会報告

令和6年第2回定例会は、2月26日(月)から3月21日(木)に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第2回定例会議案

議案第2号 令和5年度一般会計補正予算について 1億1,956万5,000円増額 ふるさと応援基金積立金6,190万8,000円等	可決	議案第5号 令和5年度町立在宅訪問診療所特別会計補正予算について 223万2,000円増額 診療所指定管理委託料	可決
議案第3号 令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算について 772万8,000円増額 過年度分の国庫支出金等償還金	可決	議案第6号 令和5年度下水道事業特別会計補正予算について 1,693万3,000円減額 消費税納入金1,053万3,000円減額等	可決
議案第4号 令和5年度介護保険特別会計補正予算について 1,934万円増額 施設介護サービス給付費912万円等	可決	議案第7号 令和5年度農業集落排水事業特別会計補正予算について 400万円減額 電気料	可決

議案への賛成反対討論

議案第29号 令和6年度永平寺町介護保険特別会計予算について

反対討論

金元 直栄

今回介護保険料値上げしないのは当然だが、国は今回、訪問系の介護報酬を大きく引き下げるとした。さらに本町は、生活支援サービスの利用へ、低所得者には支援を行っていたが、今回廃止し、他の事業者任せとした。町の福祉事業としても実施すべきなのに、廃止としていることから反対する。

賛成討論

長岡千恵子

75歳前後の方の介護認定件数が拡大している。核家族が進み、家族介護が見込まれないことも在り、介護保険の利用は年々拡大の一途となっている

のが現状である。介護保険を利用するようになって、今以上に介護度が高くなるように。健康な方は健康を維持できるような予算と考え賛成とする。

反対討論

上田 誠

今回の保険料の改定で値上げしない点や保険料の段階を増やした点など認めるが、高齢者の増加に伴い介護認定者も増加しており、介護者の報酬の減や生活支援サービスの利用で特に低所得者への廃止など、高齢者への福祉事業への後退などにより反対する。

議案第31号 指定居宅介護支援等の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例の制定について

反対討論

金元 直栄

今回の条例改定は、介護関係施設の管理運営について、1人の責任者が離れた場所にある施設の管理ができるようにしたり、1人のケアマネジャーが担当できる数を増やしたり、有資格者の配置を緩くしたり等の内容となっていて、利用者の安全を損なうことにつながるから反対する。

賛成討論

長岡千恵子

高齢化が進み介護施設の需要が増加する一方で職員の処遇は改善されていないことや職員の高齢化により恒常的な人材不足に陥っているため、職員一人当たりが担当する利用者数が増加している。

利用者へのサービスの低下につながらないようにと願いつつ賛成する。

反対討論

上田 誠

介護現場での人手不足解消のため職員1人当たりの看れる患者数を緩和（現行より増）するもので、現場の負担増になる。施設管理者も同一敷地外の施設も同時に監れることができ、管理上の課題も生じかねない。人員不足解消は、職員の処遇改善や事業者への支援改善することが本来の形であり、抜本的な改革が必要で単なる緩和では現場の負担が増す結果が懸念されるため反対する。

請願第1号 能登半島地震をふまえ、福井県内原発の総点検と原子力防災計画の見直しを求め、使用済み核燃料貯蔵に反対する請願

反対討論

森山 充

受け入れは立地自治体で決めること。原子力発電所は定期的に点検しているし、避難要綱等の改定も行われている。能登の地震についてはまだ検証出ていない段階であり不採択としたい。

賛成討論

金元 直栄

関西電力は、あと数年で満杯になる使用済み核燃料貯蔵プールから取り出し、キャスクという金属ケースに入れ、乾式貯蔵をすと示し、県はこれを了承した。しかし、この乾式貯蔵を認めることは、この地が最終処分場にされかねないこと。能登半島地震の珠洲市では、1970年代に2基の原発建設計画があったが、住民の力で建設を断念に追い込んだ。今回の地震では4mから5m大地が隆起している。もしここに原発が

あったら、福島以上の事故になっていたのではと不安はつきない。よって乾式貯蔵など、県民への説明を求めるなど、この請願は住民の不安に応える内容となっていることから、賛成する。

賛成討論

上田 誠

能登半島地震では道路は寸断され地殻は5mも隆起し、数10kmも断層のずれが起こり、原発の安全性と避難の難しさが露呈した。もし福井でと考えると不安。使用済み核燃料の乾式貯蔵計画が示された。1990年代から県外排出を求めているが、中間貯蔵施設候補地は未定、青森県六ヶ所村の再処理場も26回延期、高速増殖炉は廃炉、このまま認めたら長期保管から最終処分場になりかねず、なし崩し的に拡大する懸念と不安がある。県民や町民への危険と安全を考え賛成する。

議案への賛成反対討論

議案第9号 令和6年度一般会計予算について

反対討論

金元 直栄

本町の基金残高は50億円。国はコロナ禍を経て自治体の基金残高を調べ、積極的活用を迫っていることから、本町も積極的活用を考えるべきだがそれが見られない。非正規職員の待遇改善は別枠で行うべきだ。学校の統廃合への町の姿勢は変わっていない。マイナンバーと健康保険証の紐付け、行政のデジタル化は全国自治体の画一化への道。自衛隊への中学生等適齢者の名簿の提出は個人情報保護法違反だ。保育園の民営化など町外の事業者に仕事を渡すのは、町内若者の仕事を奪うことになるなど問題があり、来年度当初予算案に反対する。

賛成討論

長岡千恵子

今回の当初予算は町民の安心安全な暮らしを守るための諸予算や北陸新幹線敦賀延伸に伴い、観光客を誘致するための多くの予算が組み込まれている。新幹線開業を皮切りに中部縦貫自動車道全線開通を見据えての観光情報発信と捉え、町の発展を担う予算と考え賛成する。

反対討論

上田 誠

住民生活に直結する予算と認識。大規模災害対応支援策、町民への健康寿命延伸等の取り組み、子育て支援の全園0歳対応、給食無償、高校まで医療費無料、商工農支援等評価するもの。①国民の80%が反対、保険証としてのマイナンバーカード使用率4%の保険証廃止の強行②地域コミュニティの拠点公民館の人材と予算の不十分③指定管理のあり方と課題④地域衰退と子育て世代と子どもの流出につながる幼保園、小中学校統廃合の進め方等、見直しが必要と考え反対する。

賛成討論

森山 充

概ね妥当である。速やかな予算執行を期して賛成する。

議案第10号 令和6年度国民健康保険事業特別会計予算について

反対討論

金元 直栄

国は国民の不安をよそに、来年には現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに紐付けしたマイナ保険証に切り替えるという。8割もの人が反対していること。高齢者や障がい者等を置き去りにするやり方は認められない。

賛成討論

長岡千恵子

本町の医療環境は、町内に福井大学付属病院が位置し、県立病院や済生会病院等の大きな病院が至近距離に位置していることから、これら高機能病院の利用が多い。これは町民にあって喜ぶべきことではあるが、反面医療費が増大していることはやむをえない。また、町は健康寿命延伸をスローガンに掲げ、特定健康診断受診の拡大や人間ドック助成金の増額を盛り込んでいることから、妥当な予算と考え賛成する。

議案第11号 令和6年度後期高齢者医療特別会計予算について

反対討論

金元 直栄

後期高齢者医療では、低い年金にもかかわらず、利用負担が1割から2割、3割と増える人が生ずるのは認められない。

賛成討論

長岡千恵子

団塊の世代が後期高齢者医療保険へと移行する時を迎えた。団塊の世代の人口は多いため、後期高齢者医療保険が負担する医療費は必然的に増加が予測される。その分を若い世代に負担させるのはあまりにも負担が大きい。受益者負担として、医療費の負担を所得に応じて1割負担から2割または3割の負担をお願いすることで健全な会計を保つべきと考え賛成する。

一般質問



問 能登半島地震から考える町の対策について **答** 災害派遣職員の報告も聞き、今後の施策に反映したい



能登半島地震の被災地

問 永平寺町のハザードマップの状況は。 **答** 防災安全課長 災害予想地図と地震防災マップのポイントを掲載している。

問 永平寺町の建築物に対する耐震化の状況は。 **答** 住居支援課長 住宅の耐震化をより促進するために、永平寺町住宅耐震化緊急促進アクションプログラムを策定し、取り組みを実施している。

問 派遣した職員のストレス管理は。 **答** 総務課長 職員の帰庁後に個別に聞き取り調査を行っている。

問 3次ストレスによるPTSDの予防フェックを各自提出し経過観察を行っている。 **答** 資材不足や公共事業の遅れは、契約管財課長 影響が出る可能性もあるので、早期発注など各課を指導していきたい。

酒井 圭治議員



問 子どもの精神的な孤立を防ぐためには **答** 学校と家庭と地域が三位一体の体制



長野県フリースクール太陽学園研修 議会教育民生常任委員会

問 全国的に小中高生の自殺が増加している。これからの社会は家庭の経済格差だけでなく、性の多様化、外国人の増加など教育現場に求められる対応の基準がますます高くなることが予測される。不登校児も年々増加する中、子どもの精神的な孤立を防ぐための町の対応は。また民間や地域に期待することは。 **答** 学校教育課長 本町では、教室とは異なる場所でのサポートとして空き教室を利用した校内フリースクール、また公共施設を利用した適応指導教室を設置しており、不登校児へのサポートと未然防止に努めている。今後も学校や保護者と密接に連携し取り組みを持続していきたい。

問 学校でも細心の注意を払っているが、学校だけでなく家庭、地域が三位一体となって子ども達の小さなサインを見逃さない体制づくりが必要。今でもたくさんの方々に学校に足を運んでもらっているが「地域に開かれた学校」を今後も継続していかなければならないと感じている。 **答** 教育長 学校だけでなく家庭、地域が三位一体となって子ども達の小さなサインを見逃さない体制づくりが必要。今でもたくさんの方々に学校に足を運んでもらっているが「地域に開かれた学校」を今後も継続していかなければならないと感じている。

楠 圭介議員



問 地震時、町の応急給水体制と浄水施設の耐震化について **答** 自助・共助・公助の備えと計画



非常用給水袋

問 断水が起こった場合の給水対策は。 **答** 上下水道課長 断水に備え、家族1人1日当たり3ℓを目安として3日分の飲料水を確保する必要がある。町内人口1万8000人では、1日5万4000ℓの飲料水が必要。町内は吉野小学校、松岡農業構造改善センター、永平寺支所、緑の村ふれあいセンターの4か所に耐震性貯水槽を設置。4か所24万ℓ、約4日分の確保がある。また、当町給水車の容量は1600ℓ。自主防災組織へのポリタンクや給水袋など、資機材購入費への補助事業の啓発活動も行っていく。

問 日本水道協会に加盟。能登の地震をみると給水車は、1・2日で全国から集まる。状況で変わるため自助として、3日分の備えをお願いしている。 **答** 町長 日本水道協会に加盟。能登の地震をみると給水車は、1・2日で全国から集まる。状況で変わるため自助として、3日分の備えをお願いしている。

問 本町の浄水場や管路等など上下水道施設の耐震状況は。 **答** 上下水道課長 浄水施設の耐震化率100%。配水施設は83・3%。耐震基幹管路は23・9%。新規管路布設や既設管路の布設替え時に、耐震管や耐震適合管へ移行を行っている。

清水 紀人議員



3月定例会

ここが聞きたい!

一般質問という名の政策提案

12名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

【一般質問：目次】

森山 充 14P	酒井 圭治 15P	楠 圭介 15P	清水 紀人 15P
長岡千恵子 16P	清水 憲一 16P	川崎 直文 16P	松川 正樹 17P
齋藤 則男 17P	上田 誠 17P	金元 直栄 18P	滝波登喜男 18P



一般質問議事録はこちらから

問 町の行う民意吸収方法は **答** アンケート実施後パブコメを求める



問 町が行っている民意吸収の種類と施策に反映する方法は。 **答** 総務課長 計画策定の場合、専門家に審議会や委員会に入ってもらい意見を聞いている。また、様々な事業の説明会や防災講座、すまいるミーティング等では、その説明会の内容に対する意見を反映させ、ほか要望についても担当課にフィードバックしている。

問 諮問を受けた専門家が町民の意志を確認するためのアンケートを実施し、答申案を作成する。答申案に対するパブリックコメントの募集をし、コメントを反映させた答申をいただくという流れになる。 **答** 町長 諮問を受けた専門家が町民の意志を確認するためのアンケートを実施し、答申案を作成する。答申案に対するパブリックコメントの募集をし、コメントを反映させた答申をいただくという流れになる。

問 総合振興計画改定時にパブリックコメントが無かったことについての評価は。 **答** 総務課長 過去5年間に14計画のパブリックコメントを募集したが、10件はなかった。ホームページで公開するだけでなく、町民に分かりやすい周知方法を考え、関心を持ってもらう努力をしていきたい。

森山 充議員



問 志比北小学校の休校の意義がわからない **答** 決して強引に決めていない

松川 正樹議員

問 昨年10月26日、志比北振興連絡会から志比北小学校を休校とする要望が出され、その要望を町は早々と受け入れた。しかも、同時に町は志比北小学校の校舎や施設の利活用について、コンサルタン卜事業者にアドバイザー業務を委託しようとしている。これでは、急な廃校から休校への転換の理由・意義が分かりづらく、ましてや、町長が廃校を言い出した時から、議会と語ろう会まで膨大な時間、学校のあり方に議論を重ねてきたが、その議論に町は耳を傾けていたのだのかと疑いたくなる。十分に聴いてくださっていたのなら、学校の校舎や施設の今後の利活用に、コンサルタン卜事業者を使うとする意思決定をするはずがない。全く虚しい時間とお金の使い方。

町長 私たちは決して強引に決めていないわけではない。一つ一つ手順を組んで進めている。

総合政策課長 コンサル事業については、様々な提案が予想されることから、ノウハウを活用したい。今後の利活用については、賑わい、活性化につながる様に地域の皆様と一緒に進めていく。



志比北小学校

◆その他の質問…社会教育につながる社会教育。禅ブランドは永平寺町自身が磨くもの。新聞らで禅の魅力がアピール。堅達京子さんの講演「私から始める脱炭素革命」を聴いた。

問 6年度の予算編成にあたっては **答** 町民のため効果的に事業を進める

齋藤 則男議員

問 歳入財源の的確な確保と、今後の補正財源の確保は十分にできているのか、適正に把握をされ、予算を編成されたと思いますが、財源の確保に特別に苦労されたところは。

財政課長 限られた財源の中で、将来負担の増加を抑えつつ効果的に事業を進める持続可能な住みよい町づくりを意識している。

人件費の上昇、委託料の高騰、物価の高騰など経常的な経費が膨らんでおり、その財源に見合うように歳出を調整するところが苦労した。

問 国や県、そして町の各種施策の支援等を受けたが、所得制限等により受けられない者がいる。基準や制度にこだわらず、町の特別施策として、所得制限の撤廃ができないものか。

財政課長 基本的に所得制限は本当に困っている人を救うためというふうに考えている。

問 予算の査定において所管課からの積み上げ予算であると思うが、査定において削減された予算、また増額、追加された予算の件数は。

財政課長 削減が426、増額が161、追加で計上されたものが49件。予算は直接住民生活を左右し、その福祉のいかに決するもの。

◆その他の質問…経済対策は、商工業の振興策は公共事業、観光事業、少子化対策、農業行政等々の予算について

問 スローガン「健康寿命の延伸」への対策は **答** 健康長寿でまちづくりに参画と活躍

上田 誠議員

問 健康寿命の延伸、プランが高齢者福祉計画の重点目標に。高齢者の増加、生活状況、介護の実態から今後の支え合い、共生社会の実現に必須。課題解決の目標・仕組みづくりが必要。対策は。

福祉保健課長 今後の高齢者の現状や介護予防に無関心な人が4割超え。積極的にフレイル対策に取り組み動機付け、きっかけづくりの周知啓発や生活支援体制と共生社会に高齢者の社会参加、居場所づくりが予防につながり推進する。

問 延伸には病気の予防、老化の遅れ、運動機能訓練のフレイル対策（栄養と運動と社会参加）が大事。町民への健康づくりシステムやPRは。

町長 今予算のテーマは、持続可能な住みよい町。健康長寿でまちづくりに参画も健康づくりの一つに。活動活躍の場の設定でまちづくりを進める。

検診事業の充実を

問 ワクチン接種、歯科、眼底検査等の充実を。

福祉保健課長 定期健診の必要性のPR・勧奨を実施。

図書館施設の充実を

問 図書館施設・設備の充実で利用向上を。

生涯学習課長 利用者の声を聞いて対応しよう。

問 国保国庫負担減額調整措置の返還を **答** 一般会計から国保特別会計へ補填

長岡 千恵子議員

問 子ども医療費無償化で対象年齢の推移は。子育て支援課長 合併当初で就学前、平成20年9月小学3年生、平成22年6月中学3年生、令和2年10月高校3年生まで拡大。

問 減額調整措置の対象は。

住民税務課長 未就学児は対象外、小学生は県が補填するので令和2年10月以降高校生に現物給付を拡大した分が対象。

問 12月議会で減額調整措置分を国保の保険料に上乗せしたように聞いたが。

住民税務課長 保険料に上乗せしたのではない。翌々年に精算されるので国保税で補填した。

問 国保税は加入者の保険税が基盤であることから健康保険税の過徴収されているのではないか。それなら返還が必要と考えるか。

住民税務課長 減額調整措置分を一般会計から国保特別会計に補填することで余剰金が増額される。余剰金は税率引き上げ抑制の財源とする。



国保税の引き上げを防ぐ案

◆その他の質問…戸別受信機からマグスピーカーへ移行しては。住宅耐震化を促進するには。

問 町内ドライバーの運転マナー向上を **答** 役場職員、議員が模範に

清水 憲一議員

問 昨年、JAF（日本自動車連盟）の交通ルール遵守の全国調査において、本県は信号機のない横断歩道停止率全国ワースト3位という不名誉な結果。良かった県はどこも観光立県である。少子高齢化社会において、交通弱者の皆さんや新幹線などで増加する観光客へのおもてなしの点からも、交通マナーの向上を目指していただきたい。

防災安全課長 職員自らが模範となり、交通ルールを遵守していきたい。広報誌等で町民への周知を図ってほしい。

町長 役場の職員、議員の皆さんでマナーを良くしていこうという姿勢を見せたい。これがおもてなしの心、次の親切運動になり、温かい町づくりの大きなきっかけになると考える。

23年信号のない横断歩道停車率ランキング

1位	長野県	84.4%
2位	石川県	76.4%
3位	栃木県	74.8%
45位	福井県/大阪府	26.7%
46位	佐賀県	26.2%
47位	新潟県	23.2%

JAF（日本自動車連盟）HPより

◆その他の質問…デジタルポイント発行事業について。浄法寺山地すべり対策事業に小水力発電事業は組み込めないか。

問 空き家等対策について **答** 老朽化する前の利活用を促進

川崎 直文議員

問 これまでの空き家の利活用と今後の取り組みは。

えい住支援課長 町としての利活用は「禅の里笑来」「福井県立大学永平寺町・新町ハウス」。一般の方の活用は、移住された方の住まい、ゲストハウス、和食の料理屋さん等。

今後、移住・定住を進めるため、移住された方の住まいとして活用されるよう取り組む。

問 永平寺町まち・ひと・しごと創生総合戦略で空き家を利用した定住件数が設定されている。実績は。

民間ノウハウを取り入れた空き家活用の取り組みは。

えい住支援課長 定住件数は令和6年度までの5年間の目標20件に対し、現時点の実績28件で目標を超えている。

土地建物取引業協会、建築士事務所協会等と連携し老朽化する前の利活用を促進する。

問 空き家等解体及び撤去事業補助の申請、補助付与件数、解体実績は。

防災安全課長 令和2年度からこれまでの4年間、申請件数は112件。補助付与件数は43件、解体は42件。災害時の状況も踏まえ空き家等の解体に努める。



空き家利活用の「禅の里笑来」

令和6年度 永平寺町議会モニター募集中

議行財政改革特別委員会



モニター募集

1 目的

議会の運営等について、ご要望、ご意見等をいただき、分かりやすい開かれた議会を実現するために議会モニターを募集します。

2 募集内容

- ◎募集人数 10人以内
- ◎任期 委嘱の日から概ね1年間
- ◎活動内容
 - (1) 議会や各委員会等を傍聴または議会のケーブルテレビ中継・録画などを視聴の上、感想・意見・提案を寄せていただきます。
 - (2) 「永平寺町議会だより」「議会ホームページ」「議会SNS」などに関する感想・意見・提案を寄せていただきます。
- ◎応募資格 満18歳以上の町民（町内に居住、勤務、または在学している個人）であること。国会議員・地方議会議員及び永平寺町職員でないこと。
- ◎報酬 有償とします。
- ◎応募方法 令和6年5月31日（金）までに議会事務局へ、住所・氏名・年齢・職業・電話番号をお知らせください。（持参、郵送、FAX、メール可）
- ◎応募先 〒910-1192 吉田郡永平寺町松岡春日1-4 永平寺町議会事務局
TEL0776-61-3950（直通） FAX0776-61-2434
E-mail gikai@town.eiheiji.fukui.jp

視察レポート

2月14日～15日
京都府綾部市・京丹波町



移住者代表の体験報告



店舗型ふるさと納税返礼品
地産地消の食事

綾部市

にぎやかな
過疎の形成



廃校になった小学校跡地の利活用

京丹波町

店舗型
ふるさと納税



店舗型ふるさと納税の考案者 京丹波町職員

3月定例会／12人の議員が質問しました。

一般質問



問 能登半島地震と本町の防災計画 答 国や県計画の動向を見ながら

金元直栄議員



問 能登半島地震は人も家屋も大きな被害が生じた。3ヶ月以上経っても被災者への対応や、インフラの整備等から、本町の防災計画でも教訓とすべき点も多く見られると思う。見直すべき点は考えられているのか。

答 防災安全課長 様々な課題が示されているが、国や県の上位計画の動向も見て、必要に応じて計画の見直しを行う。

子らへの防災教育の目的は

問 町長は所信で子らへの防災教育の方向を示した。能登では、中学生を他へ引越させたが、災害の時こそ地元で共に生き、勉強をすべきではないのか。

答 教育長 防災教育は、児童生徒に共助を、子らのできる範囲で、お互い助け合う重要性を理解させるのが狙い。

指定管理など民間委託の課題

問 町の事業を民間化や外部委託、指定管理は安上がりの発想だと、町が持っているノウハウを失っていく。その検証が必要だ。

答 契約管理課長 公共施設の設置目的を効果的に達成するために、民間が持っている知識を活かし活用するもので、評価委員会も設置されている。

問 新幹線福井開業のための備えは 答 デジタルマップの整備など

滝波 登喜男議員



問 金沢開業時、観光入込数は富山県で15・6%増、石川県で15・8%増であったが、福井開業では62%増しか見込まれていない。その要因は、観光目的の利用者が少なく、特に外国人観光客が全国ワースト2位の低さとなっている。先日、ワシントンポストに、2024年に旅すべき場所として永平寺が選ばれ、外国人観光客の増加が期待できる。そのための備えは。

答 商工観光課長 6年度に多言語対応のデジタル観光マップや駅前地区における案内看板の整備、先進地視察など、インバウンド受入れ環境の向上を図る。また、酒蔵をつなぐ周遊バスを期間限定に運行させて2次交通を補填することで誘客を促進し、観光地の魅力アップ向上を図る。

空き家対策より積極的に

問 全国に1000万件あると言われる空き家は大きな社会問題。そこで、空き家を求めている情報をホームページに載せる、空き家使いたいバンクの設置を。

答 町長 空き家バンクに載せることで成約率が高くなる。使いたい情報をネットに載せるかは検討していくが、今後も丁寧に対応しマッチングを進める。



町の観光パンフレット

3月議会 再放送日程



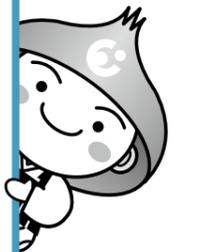
5月6日(月)～5月20日(月)

ごろまで毎日放送

毎朝6:00～ 夜24:00～

約2時間番組

令和6年3月定例議会のケーブルテレビでの再放送日程は、5月6日(月) から5月20日(月) 頃まで、毎日朝6時からの2時間と24時からの2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。



Q

福井市に居住と聞くと、他市町住民から見た永平寺町の印象

市北西部の九頭竜川と日野川の合流する辺りの地区で、昭和26年まで吉田郡でした。永平寺町には友人や親戚も住んでいますし、県立大学に4年間勤めていたので、以前から親しみはありました。永平寺町は、大本山永平寺をはじめとする伝統を守りながら、自動運転や近助タクシーなど革新的な取り組みを続ける、全国からも注目される町だと思います。

A

インタビュー!
interview!!

北川 善一 副町長



Q

前職は広報広聴課長と聞くと、県における主な業務

知事の記者会見のほか、テレビ広報番組や広報誌などの広報、県民からのご意見をお聞きする広聴を担当していました。それまでは、産業労働や政策企画部門などのほか、香港事務所にも4年弱勤務しました。

A

Q

今回の当初予算について思うところ

人件費や資材価格が高騰する中、将来世代の負担が増えないように配慮しながら、「持続可能な住みよいまちづくり」を念頭に、北陸新幹線県内開業に向けた賑わいづくりや、空き家の利活用などの移住定住対策、全幼稚園での0歳児保育などの子育て支援、能登半島地震を受けた災害対応などバランスの取れた予算になっていると思います。

A

Q

町の運営方針

全国的に少子高齢化が進み人口減少が急激に進む中でも、北陸新幹線県内開業や中部縦貫自動車道の県内全線開通のチャンスをつ捉えて、賑わいの創出や産業の振興、子育て支援、移住定住の促進など様々な施策によって、永平寺町の伝統を守りながら次世代に引き継いでいく、持続可能なまちとして発展するよう取り組んでまいります。

A

Q

改めて意気込みなど、町民に向けたメッセージ

河合町長を補佐し、町民の皆様の幸せと笑顔のため誠心誠意取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

A

次回定例会は

6月3日(月)
開催予定

議場で傍聴できます。ぜひお越しください!

役場本庁舎3階までお上がりください。
エレベーターもごさいます。事前申込不要!



議会HP

永平寺町議会だより **みでの** 第74号

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

発行 永平寺町議会 編集 議会広報特別委員会

議会日程や議事録が閲覧できます。

議会広報特別委員会

委員長 川崎 直文 副委員長 長岡 千恵子
委員 酒井 圭治 森山 充 滝波 登喜男
松川 正樹 楠 圭介

発行責任者

議長 中村 勸太郎



議会活動レポートHPです。
議会のいろいろな活動が見られます。



真新しい制服に身を包み、緊張した面持ちで集団登校する1年生の初々しさや眩いばかりの輝きに令和6年度の始まりを感じます。今年度、永平寺町議会の新しい試みとして「議会モニター制度」を取り入れて、刷新を図ります。「議会モニター」は町民の皆さま、町内で働いている方を対象に公募します。募集要項は、「議会だより みでの」19ページに掲載しています。議会刷新には、皆様のお声が不可欠です。ご応募をお待ちしています。(長岡 記)